

11/20
早稲

40年超原発再稼働 慎重判断を求める

県に2市民団体

市民団体の原発問題住民運動県連絡会など二団体は十八日、運転開始から四十年を超えた老朽原発の再稼働は事故のリスクが高いと

して、美浜原発3号機（美浜町）と高浜原発1、2号機（高浜町）の再稼働を慎重に判断するよう県に申し入れた。

各原発では四十年超運転に向けて安全対策工事が行



県の担当者④に申し入れ書を渡す市民団体のメンバーら
県議会会議事堂で

われたが、原子炉圧力容器など交換できない設備があり、放射線や高温、高圧で金属がもろくなっていると指摘。事故時に冷却水を入れて急冷すると圧力容器が破損し、重大事故に進展する危険性があるとして「再稼働について、県民の命と安全を第一に慎重に判断してほしい」と求めた。

新型コロナウイルス感染症の発生で、原発事故時に感染を防ぎながら避難する計画の実効性に疑問が出ていることも指摘。避難に使うバスの追加確保などの課題について対応を急ぐよう要請した。（今井智文）